



ペットボトルなどを使った洞窟内の手づくり模型。上からつらら石が下がっています=どちらも大阪市西淀川区で

ハヤクス(066-677-1・6686)
「申込みは無料で
入学できます。沢先生
のウェブサイト
www.sawaisao.com/

どうくつ　ふしき　し　し 洞窟の不思議を知ってね

あおさか だいがくきょうじゅ じたく て
大阪・大学教授が自宅に手づくりハウス
やく まい しゃしん もけい しょうかい
約400枚の写真や模型などで紹介

四十年にわたつて
世界の洞窟を研究し

ち、本も出していま
す。洞窟とは、人間が
入ることができる穴のこと。
火山の噴火のこと。
でできた火山・溶岩が
洞窟、石灰岩が雨水
で、手づくりの洞窟ハウ
スを計画、三か月ほど
かけて仕上げました。
足をふみ入れる

大きな大阪経済法科大学の沢勤教授が、写真や模型などを使って洞窟を紹介する施設「洞窟ハウス」を大阪市西淀川区の自宅の一部に完成させました。沢先生の専門は情報科学ですが、子どものころから洞窟に関心を持ち、大学で洞窟にかかる講義も受け持つてきました。洞窟を紹介する施設「洞窟ハウス」が集められています。

A man in a plaid shirt stands in front of a wall covered in numerous framed photographs, possibly a photo booth or a display of prints. The photos show various scenes, including what looks like a beach or a park. The wall is made of a grid of frames, and the man is positioned to the left of the wall.

約四百枚の洞窟の写真
が集められています

沢先生は「生活の場にもなるなど、洞窟は昔から人間としかりわりのある場所でした。洞窟の不思議にふれてもらいたい」と話しています。

メリカなど七か国で撮影した約四百枚の洞窟の真や、さまざまな形の溶岩のかたまりが目に飛びこんできます。

奥に進むと、洞窟の天井にできる鍾乳石を、ホースやペツトボトルなど身近な材料で再現した模型があります。

朝日新聞の姉妹紙

朝日小学生新聞

◎朝日学生新聞社 2007
支社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4
電話(06)6202-3893 (販売)
6202-3200 (広告)
6202-4661 (編集)
記事についてのお問い合わせ、
電話(03)3545-5222 (編集)